

みんなで参加しよう！ PTA活動！！



保護者も
輝く 附属中

★参加者の声を
集めてみました。



全国102附属校園から二、一八一点の力作がやって来た！！

全附P連「絵画コンクール2018」(9/24茨城大学)が

わが校PTAの皆さんのご協力で成功しました

「審査ボランティアに参加したきっかけは？」

★今回のテーマ「未来」について、全国の子供達がどのような絵を描いてくるのか、とても楽しみで参加しました。

(一年・父)

★絵が好きなので、自分の子どもと同じ世代の子どもの絵をたくさん観てみたかった。

(三年・母)



本校に続々と届く作品

「審査会に参加しての感想を聞かせて」

★子ども達の感性に圧倒されました。

(一年・母)

★子ども達の応募作品すべてを並べて直接審査員に見てもらえる絵画コンクールは貴重だと思いました。

(二年・父)



審査会の様子

「審査会に参加して、何か得るものはありましたか？」

★審査委員の先生の講評を聞く機会があり、子どもの絵に求めているものが、自由に描かせようという意識に変わりました。

(二年・母)

★何千点もの絵を、先生方が丁寧に審査して下さいているのがよく分かって良かった。

(三年・父)



入選作品のチェック

どんな審査基準？

自分の未来に対する考え方のオリジナリティの
光る作品を選んだ。

絵を描くことが苦手な子
を持つ親へ・・・

体験・体感が大切！
それが描きたいもの、興味のあるものになる。
そのイメージさえあれば、
絵を描くこと（視覚化）につながる。

審査員の先生方へ
INTERVIEW
しました



日比野彦彦 先生 Katsuhiko Hibino
1958年岐阜県生まれ。1984年東京
藝術大学美術研究科大学院修了。現
在、東京藝術大学美術学部長、先端芸
術表現科教授。岐阜県美術館館長。

附中生にメッセージを！！

多様性を認め合うことがこれからの社会のテーマ。そのために、附属中の恵まれた環境を生かし、地域、世代、性別などの異なった人々といろんな価値観を尊重し合えるようになろう。



「子どもの絵はこうあるべき」と言う“型”から逸脱した作品に触れ、とても新鮮だった。

学校では学べない美術が、美術館では学べることがあります。是非、足を運んでワークショップなどに積極的に参加を！！

年齢が上がり小中学生となるにつれて、子どもの気持ちは縮こまるもの。親は上手いかなかったことをフォローしたり、苦労したことは頑張ったと認めてあげて。美術嫌いにならないように！



さいたまトリエンナーレ
2016ディレクター
虎沢 高志 先生

水戸芸術館現代美術センター
主任学芸員
竹久 信 先生

茨城大学教育学部
美術教育専修教授
小泉 晋弥 先生



PTA常任委員会をはじめ、他にもいろいろな活動があります!!

★印は参加者の声

整える 除草作業(環境委員会)



★八月三十日の暑
い中でしたが、
スポフェスや部
活動での子ども
達の笑顔を励み
に、作業を頑張
りました。

守る 下校指導(生活委員会)

★自分の子どもの下校時間に合わ
せて、実際の
通学路やバス
の中での様子
を確認しまし
た。危険な場
所や公共マ
ナーなどを親
子で話し合う
機会になりま
した。



保護者と一緒に下校中

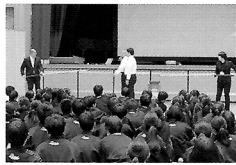
聞く 第一学年保護者会

十二月四日、本校スクールカウンセ
ラー塚本美和子先生による講演会を行
いました。悩みとの
つき合い方や、子ど
もの発達をサポート
する方法について教
えていただきました
。今後に活かして
いこうと思います。



防ぐ 第二学年保護者会

十二月四日に水戸警察署生活安
全課より講師を招いて「不審者対
策について」の講
演を行いました。
中学生や女性にも
できる危険回避術
を学ぶことがで
き、貴重な時間を
過ごしました。



募る スクールボランティア

グローバル市民科の授業参加、「賞
状」の清書、図書の整理と補修、水
泳授業の見守りなどのボランティア
活動をしていただいています。



★自分の特技を生かして、学校のお
役に立てて嬉し
いです。
★実際に活動して
みると、たくさ
んの方々がボラ
ンティア活動に
携わっているこ
とがわかり、驚
きました。

歌う コルド合唱団

年十五回の合唱の練習で気分転
換。スクールボランティアとして、
合唱コンクール等の行事で、運営
のお手伝いもします。



月2回集会室で練習



合唱コンクールでの発表

伝える 広報紙作成(広報委員会)



★いばら祭のパ
ザーの収益金は
七六八五〇円で
した。図書購入
費として学校に
寄付することが
でき、貢献でき
て活動にやりが
いを感じました。



★学校行事の取材などで、より子
ども達の普段の姿を垣間見るこ
とができるので楽しいです。

★より良い紙面作りのために、日
常でも工夫を凝らした冊子など
に目がいき、生活に張りが出た。



多彩な講師陣を招き、九月二十九
日にカラーコーディネートやボイス
トレーニングなどの多岐にわたる講
座を開きました。保護者と先生方
との親睦を深めていただきました。
★お血をデコレーションするだけ
で気分が変わりました。家でも
取り入れてみたいです。

★日常を忘れてコサージュ作りに
集中し、有意義なひと時でした。



スイーツデコレーション



コサージュ作り

備える 第三学年保護者会

十月十二日に私立高校合同説明会開
催のお手伝いをしました。学校の特色
や入試の情報に親子で真剣に耳を傾け
ました。

★進路を考えてい
く上で貴重な時
間となりました。
★親子で一緒に聞
くことで、共通理
解ができました。



★学年を越えた親同士のつながり
ができ、輪が広がりました。
★とても良いリフレッシュになり、
練習に行くのが楽しみです。

影ながら 頑張る父達の姿を知っていますか?!



「青雲の志ファーム」作り

ファーム完成



2018.3.24

関関連ソフトボール大会参加



1勝3敗 2018.8.25



普段の練習の成果を



2018.11.10
「青雲の志応援団」による
校内美化活動

いっしょに、考えていきましょう！

附属中のPTA活動がより良い方向に進んでいくように…

＜もっと減らせる活動日、作業負担＞ — 新しいスタイルの広報委員会に —



平成30年度広報委員会からの課題 ＜提案と改善＞

提 案	具体案とその効果	改 善
①仕事の透明化、マニュアル化	○委員選出時に広報委員会の活動内容を文書化して配付する。 →委員未経験者の背中を押す。 ○発行までの手順をマニュアル化する。 →委員初心者の不安を払拭する。	平成30年度委員が作成 平成31年度から実施可能
②外注への大幅な委託	○印刷会社にレイアウト、デザインの案を提供してもらう。 →未経験者の不安解消、委員の作業の負担を軽減する。 ○掲載内容を定型化し、ページ数を減らす。 (年度の第1号は「臨時号」とし、役員と先生の紹介のみに絞る。)	平成31年度4月から実施 平成31年度新委員へ引き継ぐ
③内容の厳選	○掲載する文章の依頼数、長さを検討する。 →校正作業を減らし、作業の負担を軽減する。 ○掲載する写真を減らす。学校の写真を利用する。 →撮影、選定作業の削減になる。 ○PCの台数を増やす。 →作業が効率よく進む。	PCについては、 第3回PTA実行委員会 (平成31年2月20日)にて承認済み
④活動環境の整備	○PTA会議室のインターネット環境を整備する。 →ウェブやメールの活用により作業効率がアップする。	平成31年度からの導入
⑤ボランティアの募集	○協力委員やスクボラに撮影、校正、発送作業を補助してもらう。 ○広報経験者や業者の方がいれば、アドバイザーとして、協力を仰ぐ。	平成31年度からの導入検討

検討、改善を繰り返すことで、委員会活動は進化し続けていきます！

第3回PTA実行委員会（平成31年2月20日）でも各委員会から＜課題＞が提案されました

- ★ 環境委員会：愛校作業日の時期の再検討
- ★ 研修委員会：PTA研修視察旅行の開催の検討
- ★ 生活委員会：新1年生保護者への公共機関を利用したの下校指導方法の説明徹底

